

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドテック

コード番号 6840 URL <http://www.adtec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 五十嵐 英

TEL 03-5427-6901

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,002	—	△35	—	△34	—	△36	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △37百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△4.27	—
25年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	1,298	949	73.1	112.35
25年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 949百万円 25年3月期 一百万円

(注) 平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,908	—	△36	—	△36	—	△39	—	△4.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	8,448,484 株	25年3月期	10,266,720 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	300 株	25年3月期	1,818,536 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	8,448,184 株	25年3月期2Q	9,820,568 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。なお、平成25年5月30日に当社100%出資で設立いたしました「株式会社エッジクルー」を第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスの追い風を受けた製造業を中心に改善の兆しが見られ、消費マインドも改善するなど、景気は緩やかに回復しています。2020年東京オリンピック開催も決定し、先行きについても景気の回復基調が見られる一方で、消費税率の引き上げも控え、リスクは依然払拭されない状況にあります。

当社企業グループは、主力商品であるメモリ製品の販売において、苦しい状況ではありますが、新規事業領域への進出も含めて、収益獲得に向けて積極的な活動を実施しています。

こうした状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,002百万円となりました。しかしながら売上原価の上昇もあり、売上総利益につきましては94百万円となりました。販売費及び一般管理費は、削減に努め129百万円となり、営業損失は35百万円、経常損失は34百万円、四半期純損失は36百万円となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

①メモリ製品製造販売事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は982百万円、セグメント損失は27百万円となりました。

②ウェブソリューション事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は20百万円、セグメント損失は8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は1,242百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金が660百万円、受取手形及び売掛金が385百万円、商品及び製品が71百万円となっております。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は55百万円となりました。

主な内訳は、有形固定資産が17百万円、のれんが14百万円となっております。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は305百万円となりました。

主な内訳は、買掛金が179百万円、短期借入金が100百万円となっております。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は43百万円となりました。

主な内訳は、退職給付引当金が17百万円となっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は949百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年9月30日に公表いたしました業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成25年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	660,854
受取手形及び売掛金	385,114
商品及び製品	71,769
仕掛品	8,039
原材料及び貯蔵品	62,134
その他	55,265
貸倒引当金	△622
流動資産合計	1,242,555
固定資産	
有形固定資産	17,546
無形固定資産	
のれん	14,000
その他	6,512
無形固定資産合計	20,512
投資その他の資産	
その他	87,525
貸倒引当金	△69,757
投資その他の資産合計	17,767
固定資産合計	55,825
資産合計	1,298,381
負債の部	
流動負債	
買掛金	179,033
短期借入金	100,000
未払法人税等	2,846
賞与引当金	2,598
その他	20,998
流動負債合計	305,477
固定負債	
退職給付引当金	17,665
資産除去債務	105
その他	25,914
固定負債合計	43,685
負債合計	349,162

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成25年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	700,000
資本剰余金	297,735
利益剰余金	△47,320
自己株式	△24
株主資本合計	950,390
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	207
繰延ヘッジ損益	△1,379
その他の包括利益累計額合計	△1,171
純資産合計	949,218
負債純資産合計	1,298,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,002,720
売上原価	908,402
売上総利益	94,318
販売費及び一般管理費	129,971
営業損失(△)	△35,653
営業外収益	
受取利息	68
受取配当金	254
雑収入	1,470
営業外収益合計	1,793
営業外費用	
支払利息	277
為替差損	724
雑損失	15
営業外費用合計	1,016
経常損失(△)	△34,876
特別利益	
貸倒引当金戻入額	200
特別利益合計	200
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,676
法人税、住民税及び事業税	1,760
法人税等調整額	△294
法人税等合計	1,465
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,141
四半期純損失(△)	△36,141

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年4月1日
至 平成25年9月30日)

少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△36,141
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△147
繰延ヘッジ損益	△1,425
その他の包括利益合計	△1,572
四半期包括利益	△37,714
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,714

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年4月1日
至 平成25年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△34,676
減価償却費	7,403
のれん償却額	1,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△748
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,598
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△756
受取利息及び受取配当金	△323
支払利息	277
為替差損益 (△は益)	△29
売上債権の増減額 (△は増加)	△138,572
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,881
仕入債務の増減額 (△は減少)	143,861
未収入金の増減額 (△は増加)	△17,641
前渡金の増減額 (△は増加)	86,633
未払費用の増減額 (△は減少)	△16,187
未収消費税等の増減額 (△は増加)	5,513
その他	△1,857
小計	32,612
利息及び配当金の受取額	323
利息の支払額	△277
法人税等の支払額	△3,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,995
敷金及び保証金の差入による支出	△105
敷金及び保証金の回収による収入	1,874
事業譲受による支出	△15,000
その他	△405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,716
現金及び現金同等物の期首残高	647,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	660,854

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年4月1日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、平成25年4月19日付で実行いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間において、自己株式と資本剰余金がともに244,121千円減少しております。

自己株式の消却の内容

- (1) 消却する株式の種類 当社普通株式
- (2) 消却する株式数 1,818,236株
- (3) 消却後の発行済株式総数 8,448,484株 (消却前発行済株式総数に対する割合 17.71%)
- (4) 消却日 平成25年4月19日

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	メモリ製品製 造販売事業	ウェブソリュ ーション事業	小計		
売上高					
外部顧客へ売上高	982,346	20,373	1,002,720	—	1,002,720
セグメント間の内部売 上高又は振替高	90	493	583	△583	—
計	982,436	20,866	1,003,303	△583	1,002,720
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△27,534	△8,118	△35,653	—	△35,653

(注) セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第1四半期連結会計期間以前は「メモリ製品製造販売事業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間に当社100%出資で株式会社エッジグループを設立し連結対象にしたことに伴い「ハードウェアインテグレーション事業」「ウェブソリューション事業」を報告セグメントといたしました。

当第2四半期連結会計期間において、「ハードウェアインテグレーション事業」と「ウェブソリューション事業」を一体化しての事業展開および社内管理に変更したことにより、報告セグメントも同様に一体化することとし、当第2四半期連結累計会計期間では、「ウェブソリューション事業」として統合し、「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」の二つの報告セグメントといたします。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ウェブソリューション事業」セグメントにおいて当該事業を開始するにあたり、ウェブソリューション事業部門を買収いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において15,000千円であります。